

愛と勇気の車いす物語





歩行車いす あめんぼ

AYA12/ AYA8

取扱説明書



安全に関するご注意		1
1.	製品の特徴	5
2.	同梱部品の確認	6
3.	安全ラベル	6
4.	各部名称	7
5.	操作方法および使用方法	8
6.	駐車ブレーキの使用方法	11
7.	抵抗器の調整方法	12
8.	安全ベルトの使用方法	13
9.	押手高さの調整方法	13
10.	バッグ利用時の注意	14
11.	杖置きの使用方法	14
12.	肘掛けの使用方法	15
13.	段差乗り越え方法	16
14.	主な乗り方	17
15.	保守・点検	18
16.	お手入れの方法	20
17.	仕様	21
18.	製造番号	22
19.	保証	23

このたびはカワムラサイクルの車いすをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

※ご使用になる前に<u>必ずお読みください</u>。また、ご利用いただく際には<u>必ず携帯してください</u>。



あい&ゆうき

安全に関するご注意　※ご使用になる前に必ずお読みください。

[表示マークの説明]

⚠ **警 告**　この表示は「人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ **注 意**　この表示は「人が障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⊘ **禁 止**　この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

以下の注意点以外であっても、無理な使用はおやめください。事故の原因になります。

⊘ 禁 止

●この製品は、歩行車いすです。それ以外の用途には使用しないでください。
●屋外に放置すると、サビなどにより製品が劣化します。屋内で保管してください。
●道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。
●勝手に改造・分解しないでください。強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故になる恐れがありますので絶対に改造・分解しないでください。（保証対象外）

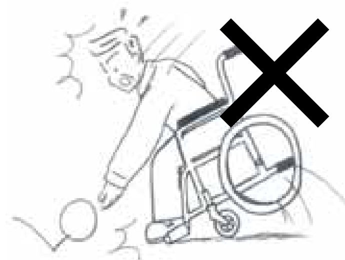
⚠ 警 告

●この製品を火気に近付けないでください。
　※シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、
　　熱くなった金属部分でやけどするなど、危険です。

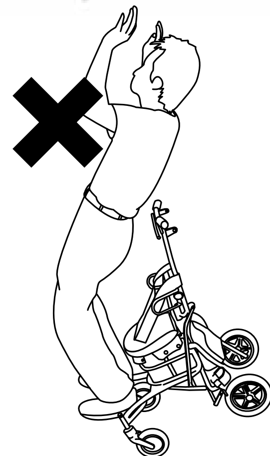


●勝手に改造・分解しないでください。強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故になる恐れがありますので絶対に改造・分解しないでください。（保証対象外）

●歩行車いすに腰掛けた状態で前方の地面に置いてある物を拾う等、強い前傾姿勢をとらないでください。歩行器が転倒し危険です。

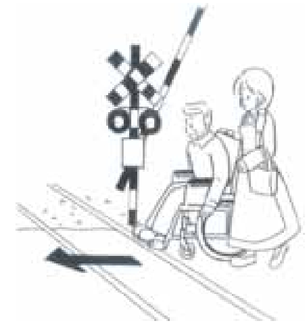


●絶対にステップ（フットサポート）の上に乗って歩行車いすに乗り込んだり、降りられるときに立ち上がらないでください。歩行車いすごと転倒し危険です。



⚠ 警 告

●踏み切りを横断の際は、車輪をレールに対して直角にして走行してください。斜めの角度で進入するとレールの溝に車輪がはまって危険です。必ず介助者と一緒にわたってください。



●利用者が乗った状態で坂道の上り下りの際は、必ず介助者に支えてもらって行ってください。上るときは前向きで、下るときは後ろ向きで走行してください。
※坂道を前向きで下ると乗っている人が前へずり落ちる、前へ倒れる、スピードが出やすいなど、非常に不安定になり危険です。また、介助者がバランスを失った時も危険です。





●後ポケットには軽いものをいれてください。過度の荷物はバランスを崩し危険です。また、押手に荷物を吊り下げますとバランスを崩し危険です。絶対に避けてください。

●座シート部以外に腰掛けないでください。



●歩行車いすに乗り降りの際は、必ず駐車ブレーキをかけて車いすが固定されていることを確認してください。
※傾斜地では駐車しないでください。傾斜地では駐車ブレーキをかけても車いすが動く場合があり、大変危険です。
※滑りやすい床面では駐車ブレーキをかけても歩行車いすが動く場合があります。

●ブレーキは必ず手で操作してください。足などで操作するとブレーキが破損する恐れがあります。また、ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。必要以上に力を加えるとブレーキが変形・破損する恐れがあります。

●ブレーキは自動車のブレーキとは構造的に違いますので、過信しないでください。

●車いすとして走行中は、足を必ずステップの上に乗せておいてください。
※足を地面に付けたりステップから外すと、ステップと地面の間に足が巻き込まれてケガをする恐れがあり、危険です。

⚠ 警告

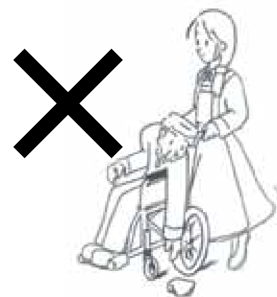
●介助者は、絶対に車いすに乗って介助しないでください。

●歩行車いすを投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。

●歩行車いすを物品運搬など車いす以外の目的に使用しないでください。



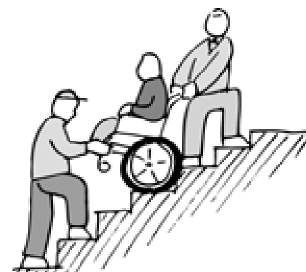
●傾斜地での走行は、歩行車いすが予想外の方向に進むなど、大変危険です。



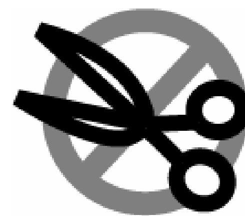
●車いすとしての走行中は、身体を乗り出さないでください。
歩行車いすが不安定になり危険です。

●歩行器としてご利用の際には、段差の前では一旦停止してティッピングレバーを利用して乗り超えてください。決して勢いをつけて乗り超えないでください。大変危険です。また、フレーム及びキャスタ車輪等の損傷を受けます。

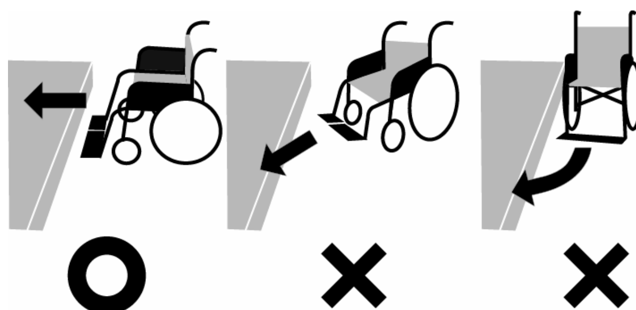
●階段などで利用者が乗ったまま車いすを持ち上げる場合、固定されているパイプを 2 人以上でしっかり支えてください。



●シートがやぶれた場合は、必ずシートを交換してください。
また、故意にシートを切断する等の加工を絶対にしないでください。シートを破断したり、加工した状態でご使用されますとフレームが歪んだり、破断する原因となります。また、シート取付ネジが歪んだり、欠落すると事故の原因になります。



●発進するときや段差を乗越えるときには、キャスタのタイヤが真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。斜めに進入したり、キャスタタイヤが斜めになった状態で発進すると段差を乗越えられなくなったり、キャスタの破損やキャスタからタイヤが外れる原因になったり、事故の原因となる恐れがあり大変危険です。





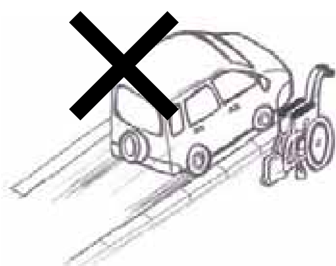
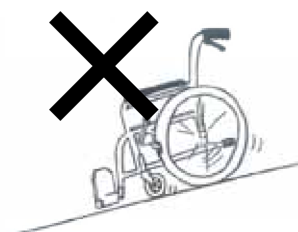
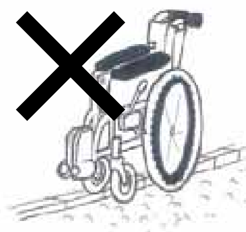
⚠ 注 意

●走行する際には片手で操作しないでください。傘をさしながら、また片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。

●夜間、雨降りは通行者や車から発見しにくくなります。
充分にご注意ください。

●認知症（痴呆症）の方がご使用される場合は、必ず介助者が付き添ってください。また、歩行車いすのシート、部品等を飲み込むことや一度かけた駐車ブレーキを不意に解除されることがありますので、充分ご注意ください。

●下記のようなところに歩行車いすを放置しないでください。
・車道に近いところ　・人通りのあるところ　・路面に段差や凸凹のあるところ
・湿気の多いところ　・雨風の当たるところ
事故やサビ・破損の原因になります。


●歩行車いす乗降時や移乗時には、必ず介助者が付き添ってください。



●皮膚の弱い方のご利用の際には、充分ご注意ください。

なお、この取扱説明書は、仕様変更などによりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。



SG マーク制度について

※弊社では、認定を受けた全ての商品にＳＧマークを貼付しています。

ＳＧマーク制度は、ＳＧマーク付製品の欠陥により発生した人身事故に対する賠償制度です。事故原因や被害の程度に応じて、製品安全協会が賠償措置を実施いたします。
（ただし、消費者側の一方的な過失、もしくは誤使用に基づくような場合は除きます。）

※本品は車いすとしてのＳＧマーク認定製品です。歩行補助車としてのＳＧマーク認定製品ではございません。

■賠償についてのご注意

・認定した商品そのものが故障しても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも障害などの身体的な損害について賠償する制度です。

・生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

■保証期間

保証期間はご購入後 4 年以内です。

■賠償の請求について

損害を被った消費者が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から 60 日以内に下記の協会又は協会が指定する所に届けてください。

【製品安全協会】

本　　部　東京都中央区日本橋本町 1-5-9
共同ビル 7 階
Tel03-5255-3631

大阪支所　大阪市中央区谷町 3-4-5
中央谷町ビル 4 階
Tel06-6941-6422

事故賠償に必要な項目

① 事故の原因となった SG マーク表示の製品
製品の名称、SG マーク番号、製品の購入先、購入年月

② 事故発生の状況
事故発生年月日、事故発生場所、事故発生状況

③ 被害の状況
被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所、被害の状況と程度（医師の証明書）

1.製品の特徴

この商品は、自立歩行が可能な方の歩行機能を補う歩行車いすです。

●簡易車いすですので、長時間の車いすとしての利用には向きません。

●押すときの抵抗が調整できます。

●押手の高さ調整が 88～100 ㎝（5 段階）で調整できます。

●杖置き・安全ベルト付です。

2.同梱部品の確認

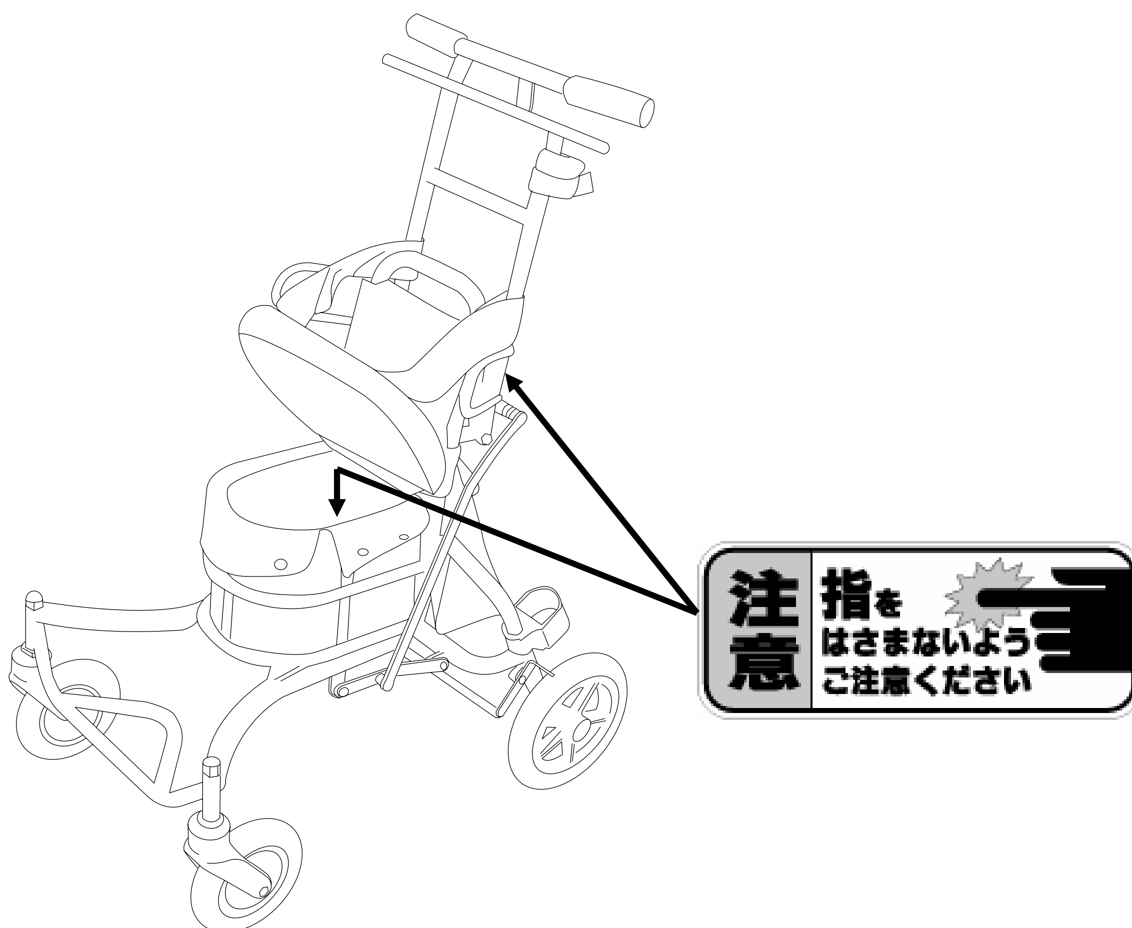
本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

・取扱説明書	１冊
・保証書はがき	1 枚

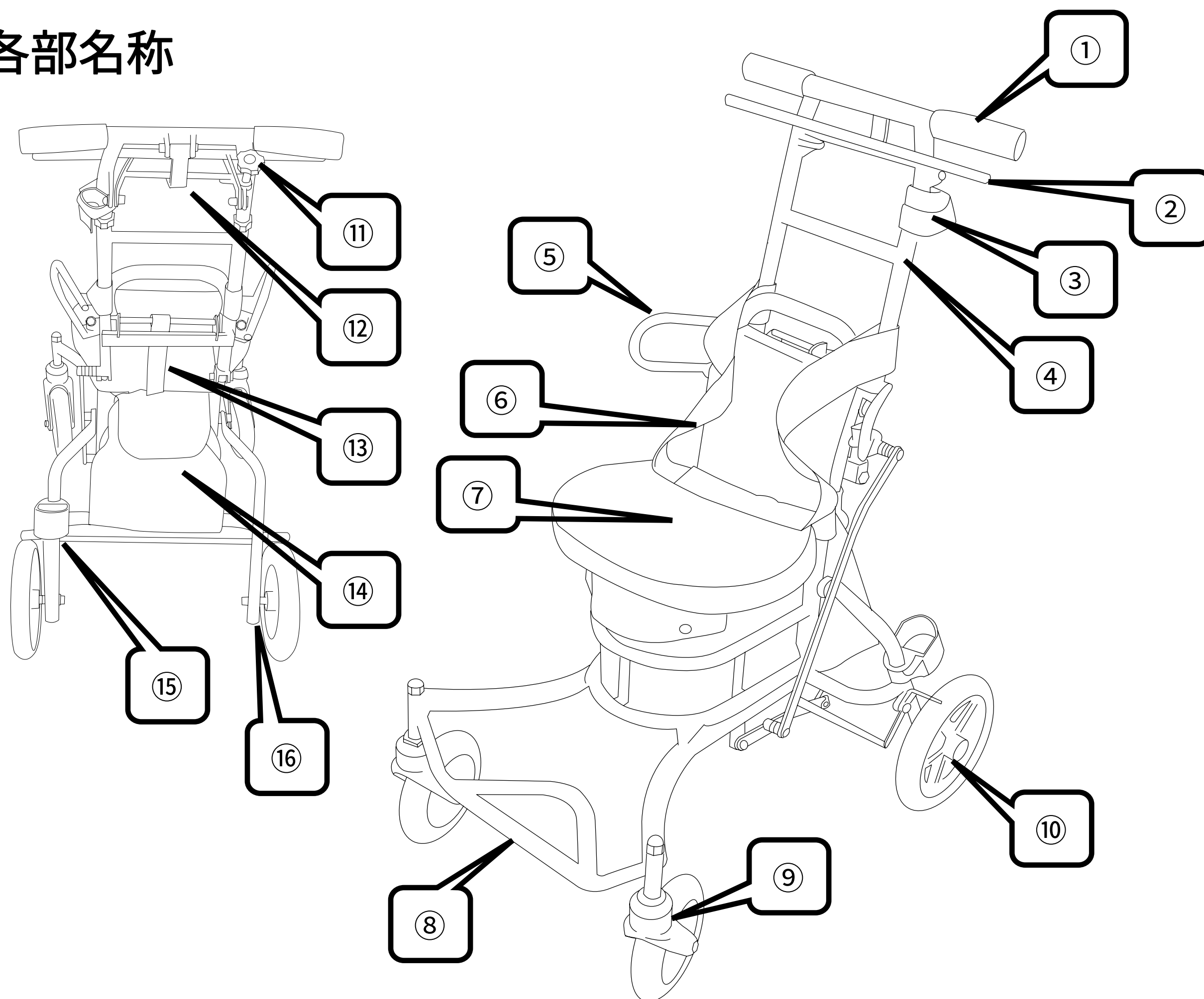


3.安全ラベル

・ 取扱上の重要な事項を記載した安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。
・ ラベルを汚したり、はがしたりしないでください。



4.各部名称

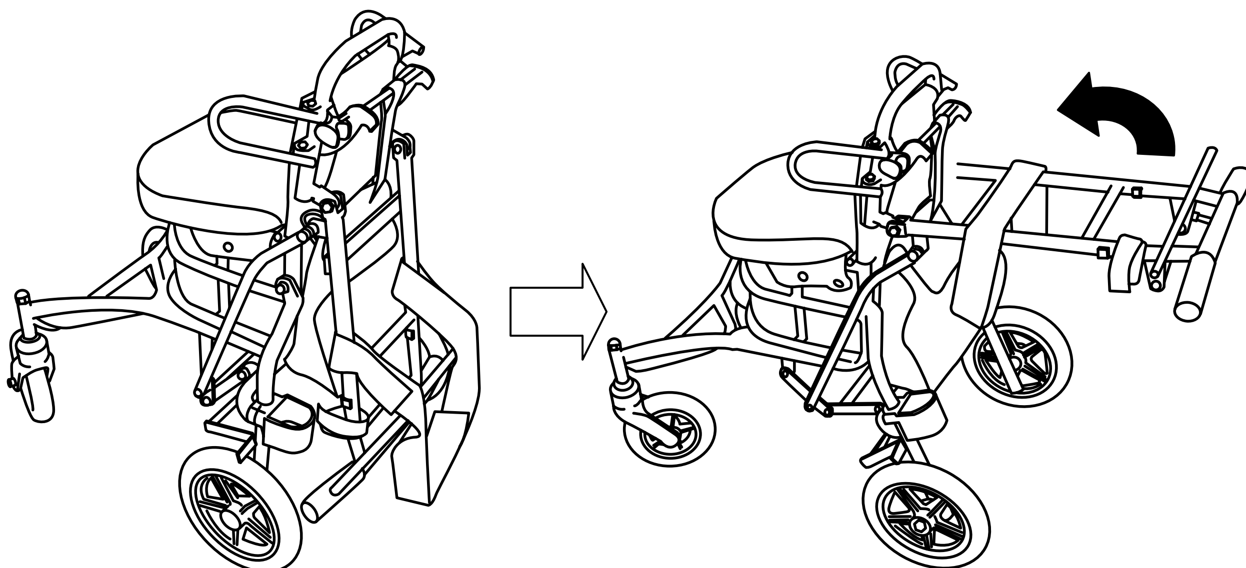


①押手（手押しハンドルグリップ）	歩行の際に握っていただく場所です。
②手元ブレーキ	駐車や減速する際にご使用ください。
③杖用面ファスナー	杖を固定させるものです。
④押手高さ調整ピン	押手の高さを調整する時に使用します。
⑤肘掛け	身体が傾かないようにする小さな肘掛けです。
⑥安全ベルト	ズリ落ちないように腰を安定させるベルトです。
⑦座面（バッグフタ）	腰かける場所です。バッグのフタを兼ねています。
⑧ステップ	足をのせる場所です。
⑨キャスタ（前輪）	自在に方向転換できる小車輪です。
⑩後車輪（主輪）	回転する際に軸となります。
⑪抵抗器調整ネジ	押すときの重さを調整するネジです。
⑫ブレーキストッパー	手元ブレーキを固定し、駐車時に使用してください。
⑬ロックレバー固定用面ファスナー	使用する際に、面ファスナーで巻いて固定します。
⑭後ろバッグ	物入れです。
⑮杖置きカゴ	杖の先を入れる場所です。
⑯ティッピングレバー	歩行器として使用時に､段差乗り越えにしようします。

5.操作方法および使用方法

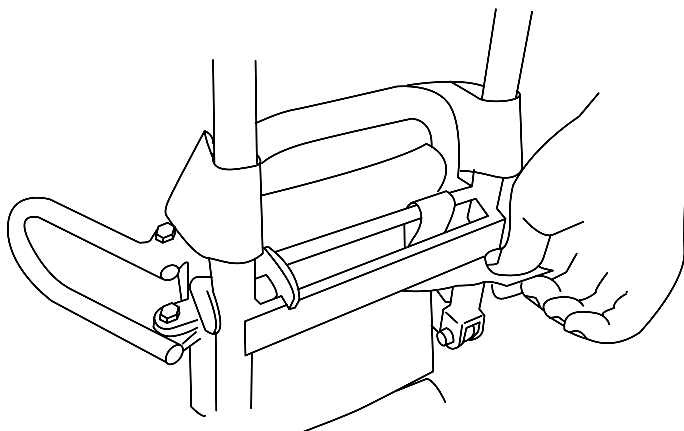
＜拡げ方＞

①背もたれを起こします。



押手部分を持ち、矢印の方向へ“ カチッ ”という音がするまで持ち上げてください。
（指や手をはさまないようにご注意ください。）

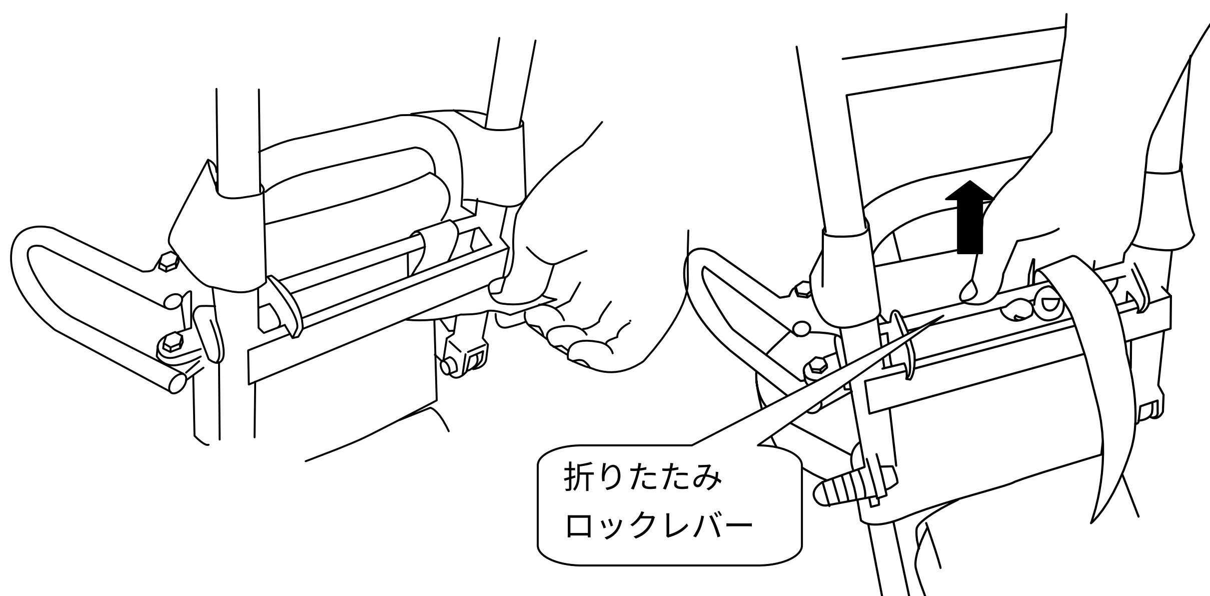
②面ファスナーで固定します。



押手が固定されていることを確認してから、面ファスナーを巻きつけてください。

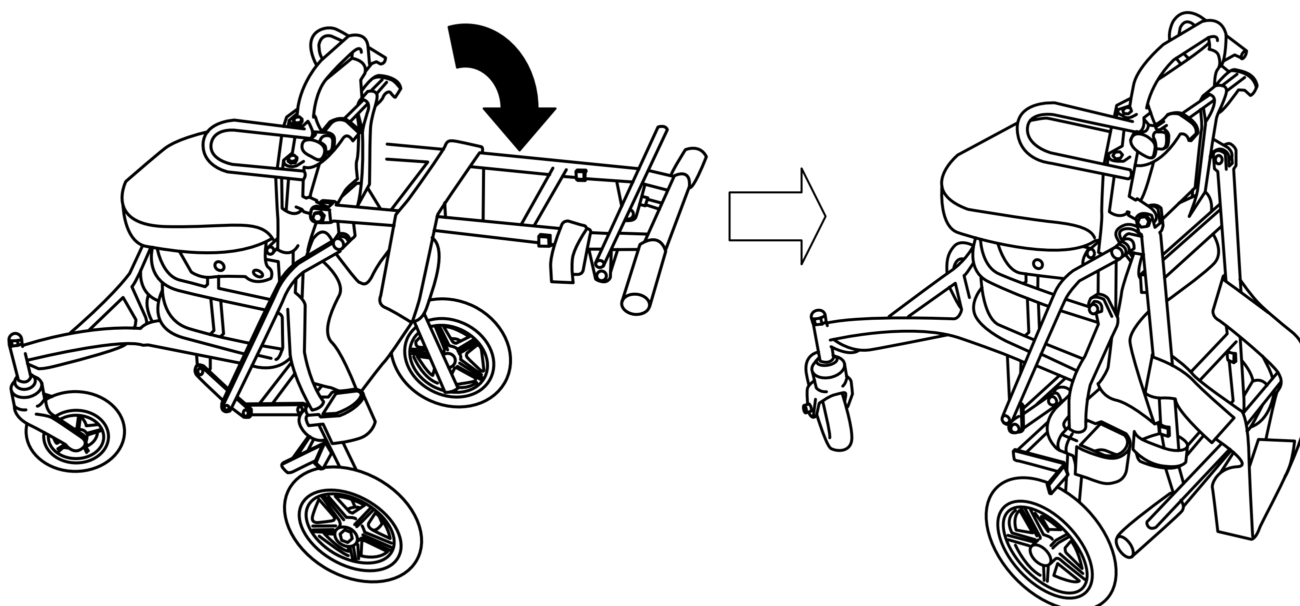
＜たたみ方＞

①面ファスナーを外します。　**②ロックを解除します。**

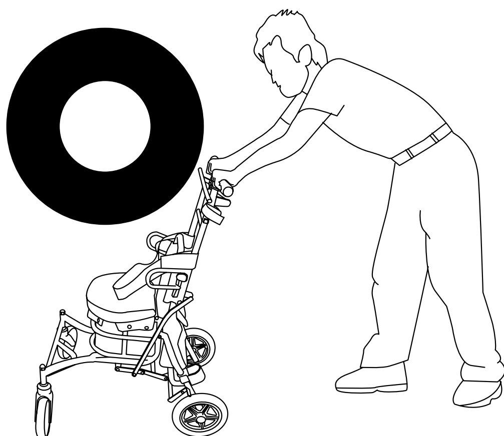


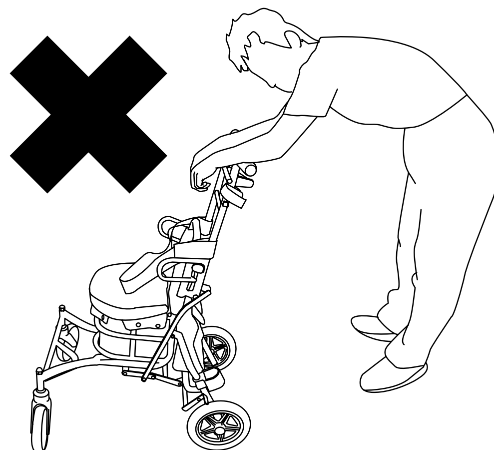
折りたたみロックレバーを持ち上げ解除します。

③押手を倒します。



＜歩行するとき＞

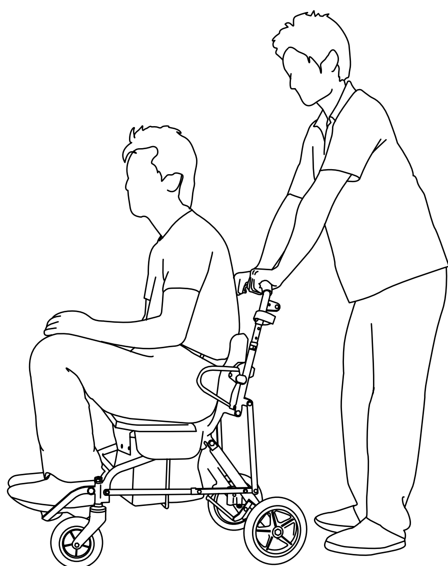




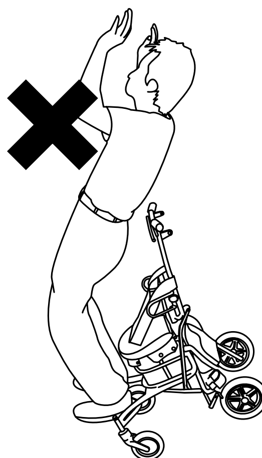
⚠注 意

●歩行する際には必ず押手をしっかりと握ってご利用ください。押手をしっかりと握っていないと、思わぬ事故になる恐れがあります。

＜車いすとして利用するとき＞



⚠警 告



車いすから乗降する際、絶対にステップの上に乗らないで下さい。
車いすごと転倒し、大変危険です。

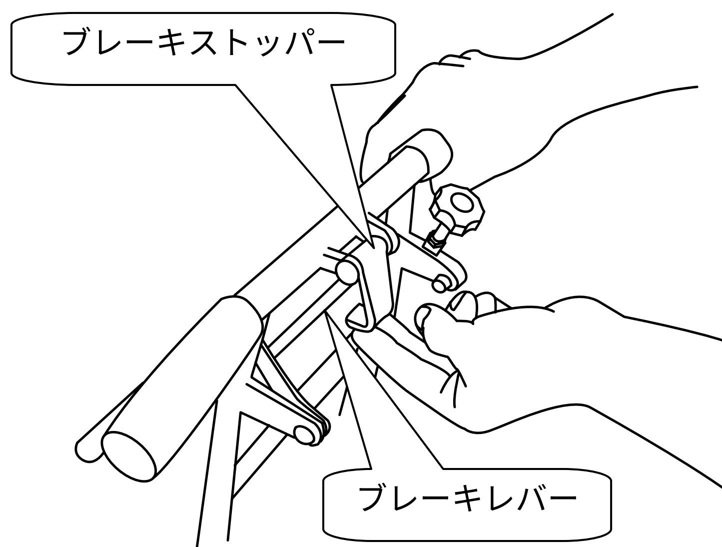
⚠注 意

●車いすとしてご利用いただく際には、必ずステップの上に足を乗せてご利用ください。

●車いすとしてご利用いただく際には、必ず安全ベルトをしてください。



6.駐車ブレーキの使用方法



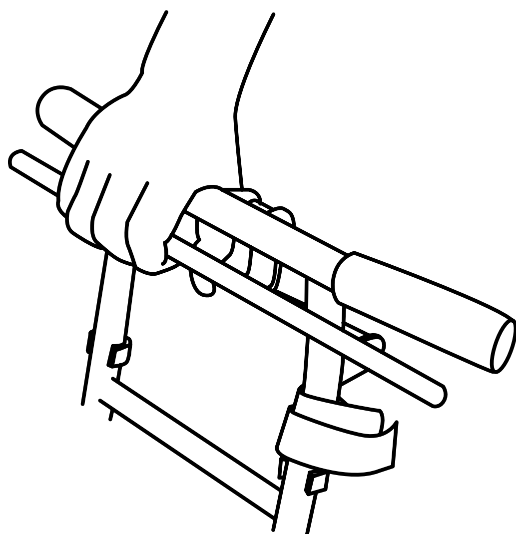
⚠警 告

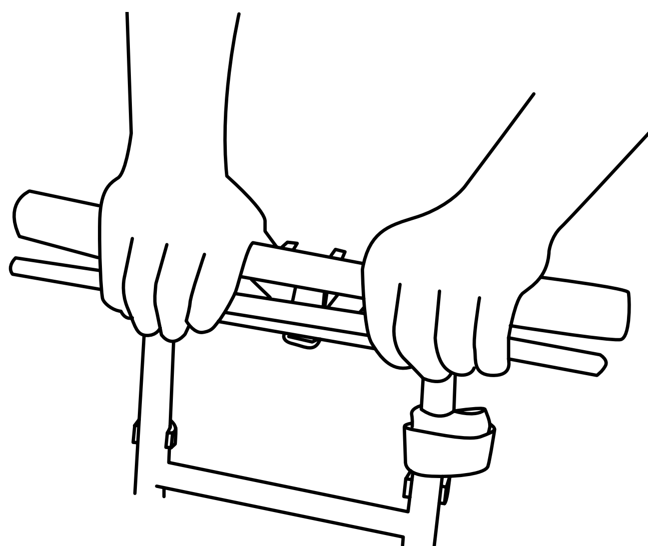
●商品から離れる際には、必ず駐車ブレーキをかけた状態にしてください。ブレーキをかけずに離れると動き出す恐れがあります。

⚠注 意

●押手とブレーキレバーの間に指を挟まないようにしてください。
●ブレーキの効き目が強すぎたり弱すぎるときは、すぐに販売店にご相談ください。
●ブレーキワイヤーは１年に１度、定期的に交換してください。

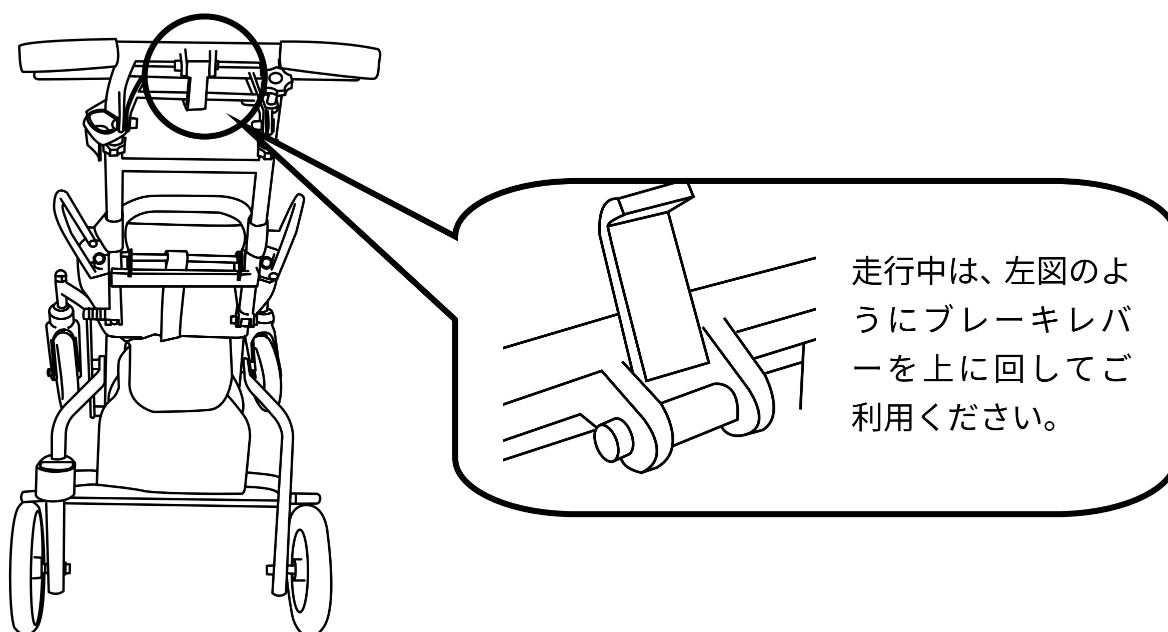
ブレーキレバーをしっかりと握り、ブレーキストッパーで固定してください。





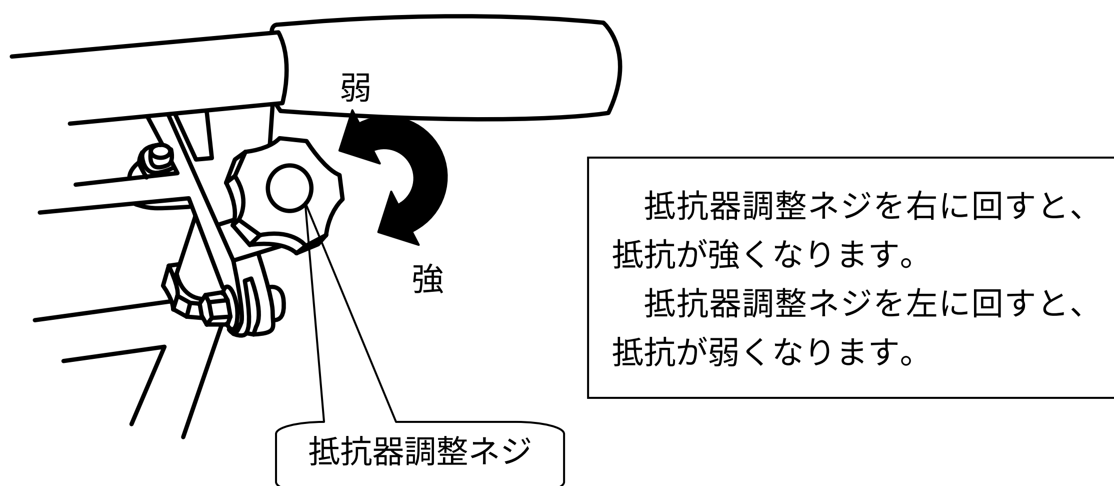
＜ブレーキング＞
走行中や下り坂での減速ブレーキとしてご使用ください。
※イラストは、片手で握っていますが実際には両手でしっかりと握ってください。

＜パーキング＞
乗り降りの際や駐車の際にご使用ください。
※ブレーキレバーがしっかりとかかっていることを確認してください。



7.抵抗器の調整方法

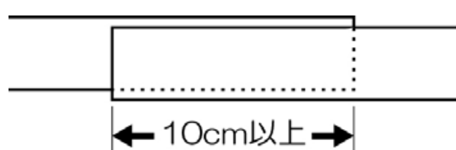
走行中の下り坂での減速ブレーキとしてご使用ください。



⚠ 注 意

●左に廻しすぎると抵抗器調整ネジが外れますので、ご注意ください。

8.安全ベルトの使用方法

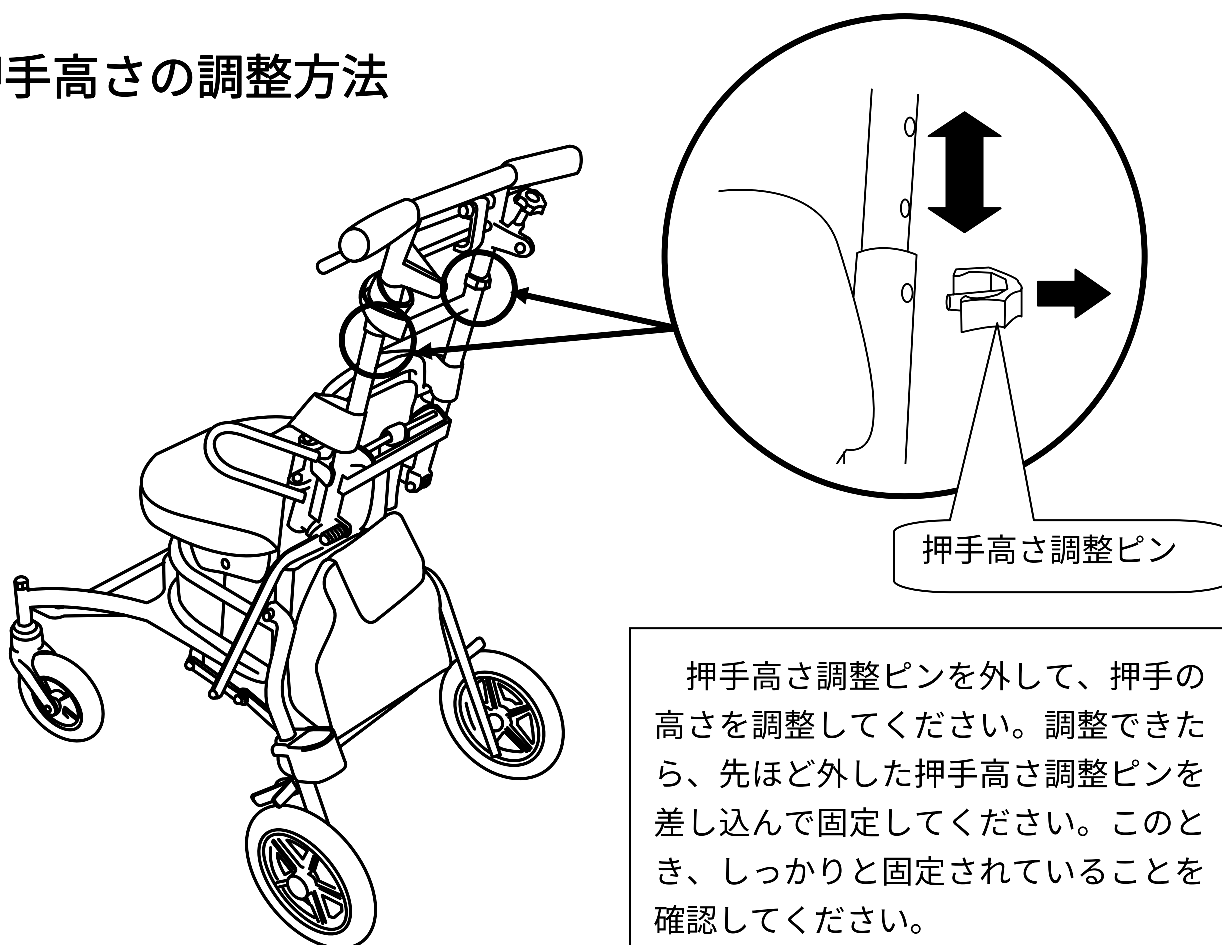


車いすに深く腰掛け、面ファスナーの接着部分を　１０ｃｍ以上重ね合わせてしっかりととめてください。

⚠注 意

- シートから落ちるおそれがあるので必ず安全ベルトを使用してください。転落事故の原因となります。
- 面ファスナーに糸くず･汚れなどがついたときは取り除いてください。
  接着力が弱まり、事故の原因となります。

9.押手高さの調整方法



押手高さ調整ピンを外して、押手の高さを調整してください。調整できたら、先ほど外した押手高さ調整ピンを差し込んで固定してください。このとき、しっかりと固定されていることを確認してください。

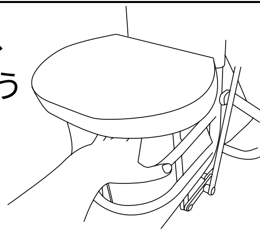
⚠注 意

- 押手高さ調整ピンが奥までしっかりと差し込んであることを確認してからご利用ください。万が一、ゆるんでいると思わぬ事故の原因となります。
- 押手高さ調整ピンを紛失しないようにしてください。

10.バッグ利用時の注意

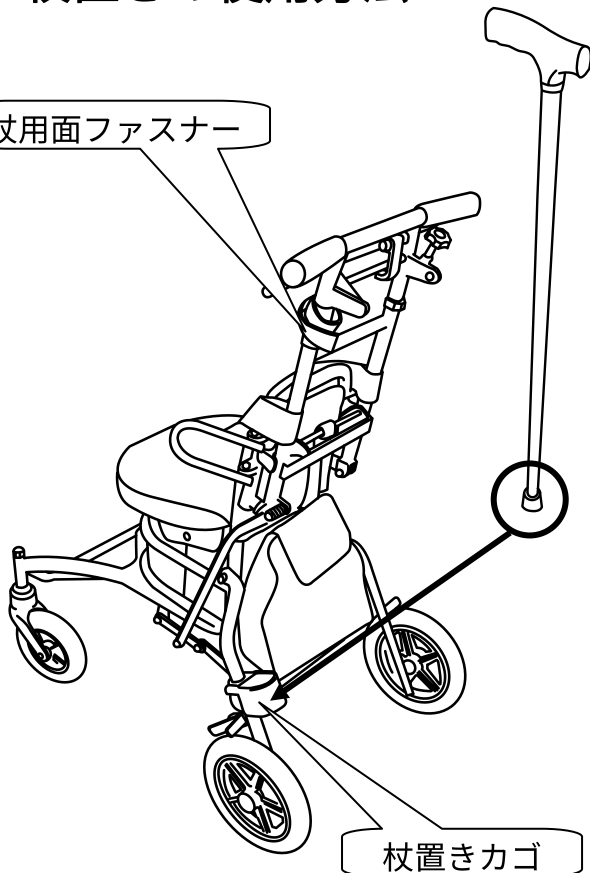
⚠注 意

バックを締める際には、
手や指をはさまないよう
にご注意ください。

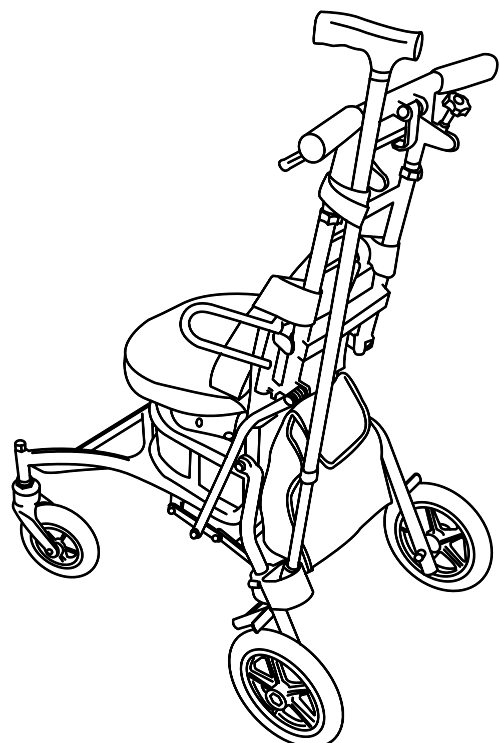




11.杖置きの使用方法

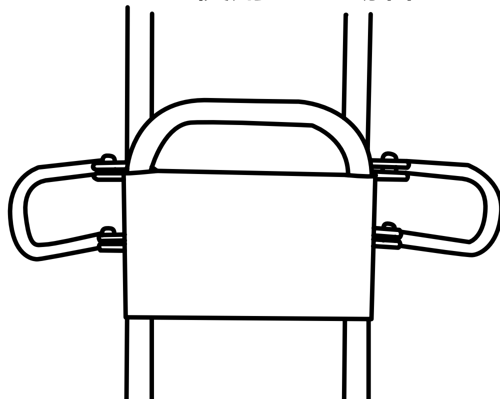


杖先を杖置きカゴに入れ、杖用面ファスナーを巻きつけて、杖を固定してください。



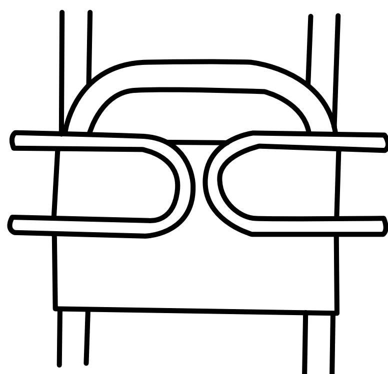
１２.肘掛けの使用方法

＜車いすとして使用する場合＞



肘掛けを開いてから、ご使用ください。

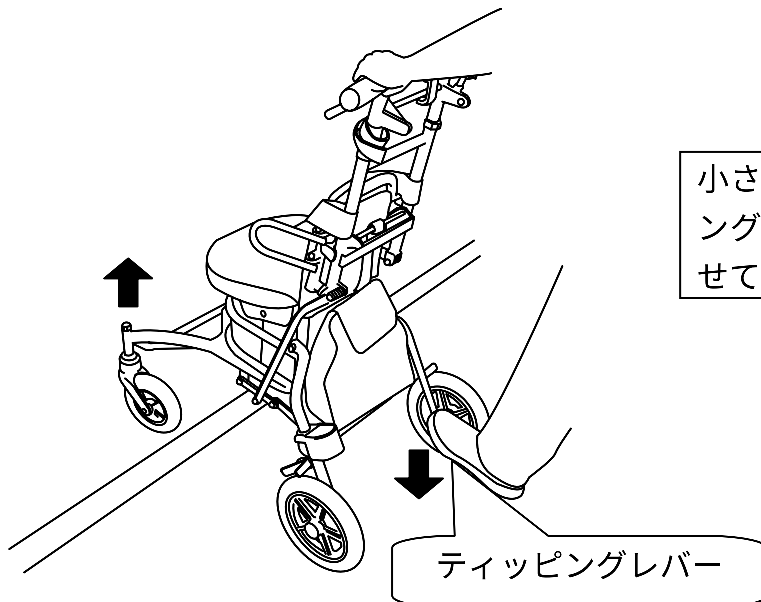
＜歩行する場合＞



肘掛けを閉じて、ご使用ください。

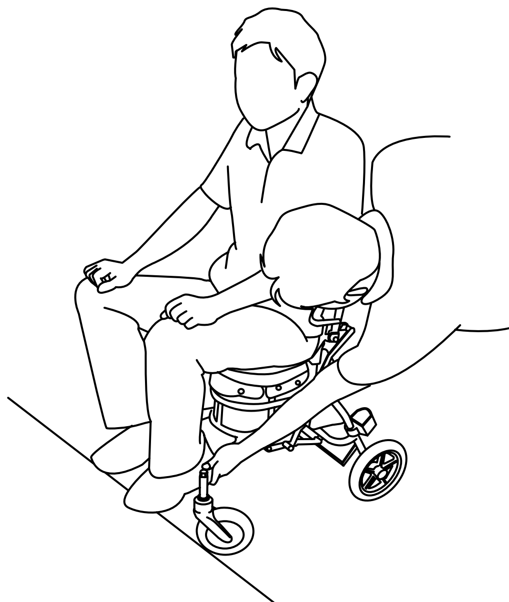
13.段差乗り越え方法

＜歩行するとき＞



小さな段差を乗り越える際には、ティッピングレバーを踏んで、前輪キャスタを浮かせて段差を乗り越えてください。

＜車いすとして利用するとき＞



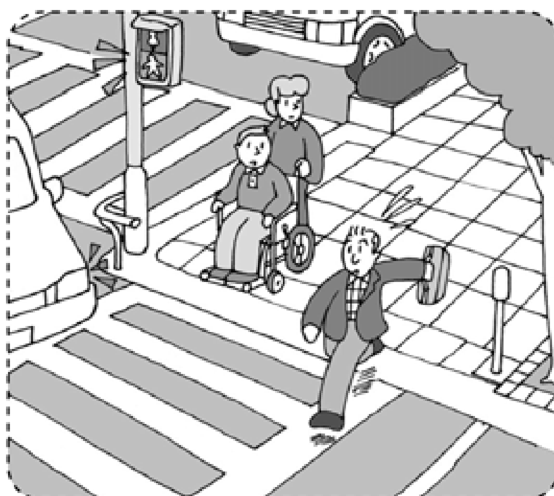
前輪キャスタを持ち上げて段差を乗り越えてください。または、後向きで後輪を持ち上げて段差を乗り越えてください。

14. 主な乗り方＜各部の点検・保守方法＞

⚠警 告

- ●下り坂は加速がつき危険です。いつでもブレーキがかけられるよう慎重に。
- ●いきなり公道に出るのは危険です。屋内や庭など安全な場所で練習しましょう。
- ●車道はできるだけ通らず、歩道や十分な幅のある路側帯を通りましょう。

車いすは歩行者として取り扱われます。
歩行者としての交通ルールを守りましょう。



●「自転車及び歩行者専用」、「歩行者専用」のマークのある歩行者専用道路も通ることができます。
●信号機のある場所では、「青」が点滅中に横断するのは危険です。次の「青」信号を待ちましょう。

★焦らずゆとりを持った横断、走行を心掛けましょう。

★外出

車いすの場合、安全な使い方は、“ ゆっくり ”“ 確実に ” と “ 安全ベルト着用 ” が基本です。

坂道





＜上り坂＞	＜下り坂＞
押す人は身体を少し前に倒して、押し戻されないよう、一歩ずつしっかりと押します。	坂を下るときはブレーキを軽く使いながら、後ろ向きに一歩ずつ下ります。 安全ベルトを必ずご利用ください。

※双方にとって安全で負担の少ないことが重要です。

15.保守・点検

1ヶ月に一度は安全点検を行ってください!!

★タイヤの溝は十分認識できますか？

タイヤの減りが激しいものはパンクの原因になったり走行性やブレーキの効きが悪くなるので交換が必要です。また、タイヤやキャスタのひび割れにもご注意ください。

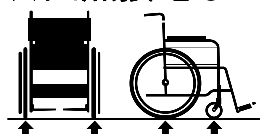
★ブレーキはしっかり効きますか？

にブレーキの取付ネジの緩み、ブレーキ本体のガタなどがないかご確認ください。もし、異常がございましたら、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★変な音がしませんか?

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかをご確認してください。ブレーキワイヤーが車輪に擦れている、ベアリング部の油分が不足しているなどの原因が考えられます。原因が不明な場合、修理不可能な場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

★四点接地していますか？



前輪二輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。
四点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。
直ちにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★まっすぐ進みますか？

平地で車いすを左右均等な力で押してください。自然に曲ってしまう場合、どこかが歪んでいる可能性があります。原因となっている箇所の修理・交換を行ってください。



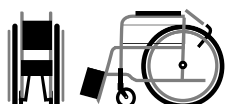
★シートに破損やたるみ、傷みはありませんか？

車いすは湿気に弱いので、雨にぬれる場所などに放置していたり、長時間続けてご使用になるとシートに破損・たるみが発生します。座り心地を損なわない姿勢が保ちにくくなりますので、たるみ・破損が著しい場合は交換をおすすめします。

★ネジの緩みはありませんか？

ガタがある場合は、ネジの緩みや脱落が考えられます。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐに緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★きちんと折りたためますか？



折りたたみに異常がある場合、クロスの金具のネジの緩みや摺動部分の油切れが考えられます。ネジの締め付け、注油を行ってください。

異常が見つかったらご使用を中止してください。

★車輪やキャスタはしっかり固定されていますか？

車輪を留めているボルト、キャスタを留めているボルトは緩んでいませんか？緩んでいると使用中突然車輪やキャスタが外れて転倒するなど大変危険です。充分ご確認の上、しっかりと締めてください。

★ブレーキワイヤーは切れていませんか？

ブレーキヤイヤーは切れていませんか？ブレーキが効かなかったり、事故の原因になります。安全のため、1 年に一度はワイヤーを交換してください。

★洗浄の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

- 中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。
- シンナーやベンジン・アルコールなどの揮発性のものは使用しないでください。
- たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
- オゾン消毒はしないでください。ゴム材料の収縮などの原因になります。

変質・変色・傷み・割れの原因となります。

異常が見つかったらご使用を中止してください。



●スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。

●異常が見つかったら、直ちにご使用を中止してください。

16.お手入れの方法

★金属部分（フレーム、車輪等）

フレームなどの金属部は、乾いた布でよく汚れを落としてください。スポークの通常のお手入れは、水を用いずに汚れを落とす程度で十分です。凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびり着いた汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。

★樹脂（プラスチック）部

樹脂（プラスチック）部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

★クッション、シート類

シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。市販されている防水加工用のスプレーなどを用いての防水加工をお勧めします。防水加工を行う場合は、ご使用になる防水加工用商品の説明書をよくお読みください。

＜汚れがひどいとき＞

●汚れがとれにくい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後、水で濡らした布で洗剤を拭き取ってください。
●しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取り除いてください。
●洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。

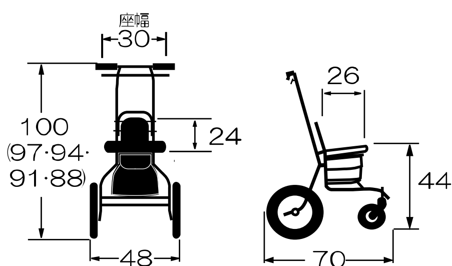
《お手入れの上のご注意》

●中性洗剤を使用してください。（中性洗剤以外の洗剤を使用すると、変質・変色・傷みの原因となります。）
●シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。（変質・変色・傷みの原因となります。）
●たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。（傷み原因となります。）

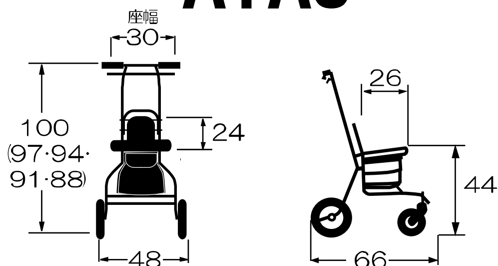
17.仕　様

品名・名称			標準仕様・規格	
			AYA12	AYA8
座　　幅		(mm)	300	300
前座高さ		(mm)	440	440
シート奥行き		(mm)	260	260
背もたれ高さ		(mm)	240	240
全高		(mm)	1,000	1,000
全長		(mm)	700	660
全幅		(mm)	520	480
折りたたみ時のサイズ	全高	(mm)	750	750
	全長	(mm)	590	540
	全幅	(mm)	520	480
重量			9.3 kg	8.3 kg
駆動輪（後車輪）			１２in　ハイポリマータイヤ付　樹脂ホイール	8in　ハイポリマータイヤ付　樹脂ホイール
キャスタ（前車輪）			6in（150X30）　ウレタンタイヤ　樹脂ヨーク	
フレーム			アルミ製　塗装仕上げ	
安全ベルト			面ファスナー式　黒色	

AYA12



AYA8

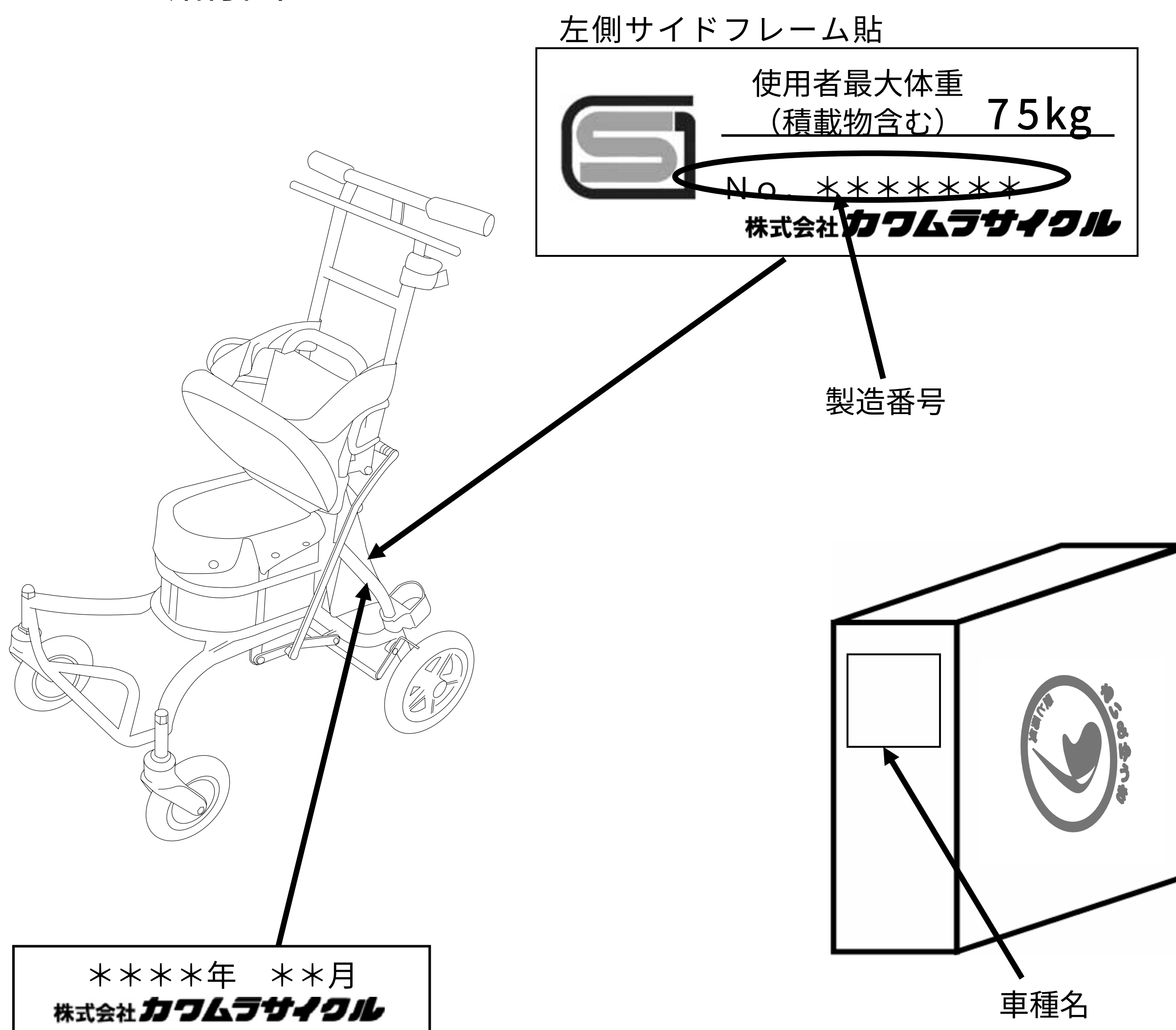


18.製造番号

アフターサービスなどを的確に受けるため、製造番号を記録しておいてください。
製造番号は、左フレームの SG マーク横に記載しています。

車　　種	
製 造 番 号	
製造年月	年　　月

＜シール貼付位置＞



１９.保証

★保証書

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に当社へご返送ください。
保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

★補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

★保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

★保証の適用除外となる場合

（ａ）ご使用による消耗品および取扱不注意による破損
　例）タイヤの磨耗およびパンク、シート、ステップ板の破損等
（ｂ）地震、台風、水害などの天災および事故、火災による破損
（ｃ）お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
（ｄ）保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損
（ｅ）弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用で発生した破損
（ｆ）一般に車いすが走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損

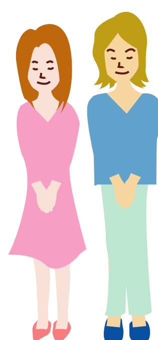
★本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡しください。

★一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。

地球の環境保護のため、
廃棄するときはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。

メ　モ



地球の環境保護のため、
廃棄するときはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。



株式会社カワムラサイクル



■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地３−９−１	TEL078-969-2800
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地３−９−１	TEL078-969-2820
■さいたまサービスセンター	〒338-0002	さいたま市中央区下落合７-11-2	TEL048-832-0168
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷１−８−３	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野２−12−９	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町１−３−11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒564-0044	大阪府吹田市南金田２−20−10	TEL06-6190-8488
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原１−18−３	TEL092-882-4722

■神戸工場　■神戸第二工場　■いなみの工場　■メンテナンスセンター

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。

2007.3